

令和7年12月12日  
南陽市上下水道課

## 水道水に含まれる放射性物質測定検査について

水道水の放射性物質検査について、厚生労働省から「水道水中の放射性物質に係る目標値の設定等について(健水発 0305 号第 1 号水道課長通知)」が発出されたことを踏まえ、水道水中の放射性物質検査を定期的に行っています。

南陽市における検査結果については、検出下限値未満でしたのでお知らせします。

### 1. 検査内容

検査対象核種は放射性セシウム(セシウム 134 及び 137)を対象項目とします。

### 2. 検査方法

ゲルマニウム半導体検出器を用い、検出下限値は 1Bq/kg 以下とします。

### 3. 検査頻度

- ・ 小滝浄水系(旧小滝簡易水道)については、3か月連続して放射性物質が検出されていないことから、国の通知に基づき、3か月に1回に減じて検査を実施しています。
- ・ 置賜広域水道については、山形県で検査を実施しています。

### 4. 検査結果

検査結果は、次頁のとおりです。

※ 置賜広域水道の測定結果については、山形県のホームページをご覧ください。

(参考1)水道水中の放射性物質に係る管理目標値

- ・ 放射性セシウム 10Bq/kg(セシウム 134 及び 137 の合計)

問い合わせ先

南陽市上下水道課水道係 TEL0238-40-8435

# 水道水に含まれる放射性物質測定結果(令和7年度)

[単位:Bq/kg]

## 1. 小滝浄水系(浄水)検査機関:株式会社 新環境分析センター

| 採水日  | 結果<br>判明日 | 採水場所(水源)         | 放射性ヨウ素     | 放射性セシウム    |            |
|------|-----------|------------------|------------|------------|------------|
|      |           |                  | I-131      | Cs-134     | Cs-137     |
| 6/10 | 6/11      | 小滝浄水場 浄水(矢引沢表流水) | 不検出(<0.60) | 不検出(<0.76) | 不検出(<0.67) |
| 9/9  | 9/10      | 小滝浄水場 浄水(矢引沢表流水) | 不検出(<0.78) | 不検出(<0.55) | 不検出(<0.59) |
| 12/9 | 12/10     | 小滝浄水場 浄水(矢引沢表流水) | 不検出(<0.85) | 不検出(<0.73) | 不検出(<0.87) |
|      |           |                  |            |            |            |
|      |           |                  |            |            |            |

## 2. 小滝浄水系(原水)検査機関:株式会社 新環境分析センター

| 採水日  | 結果<br>判明日 | 採水場所(水源)         | 放射性ヨウ素     | 放射性セシウム    |            |
|------|-----------|------------------|------------|------------|------------|
|      |           |                  | I-131      | Cs-134     | Cs-137     |
| 6/10 | 6/11      | 小滝浄水場 原水(矢引沢表流水) | 不検出(<0.85) | 不検出(<0.91) | 不検出(<0.81) |
| 9/9  | 9/10      | 小滝浄水場 原水(矢引沢表流水) | 不検出(<0.75) | 不検出(<0.77) | 不検出(<0.80) |
| 12/9 | 12/10     | 小滝浄水場 原水(矢引沢表流水) | 不検出(<0.77) | 不検出(<0.80) | 不検出(<0.85) |
|      |           |                  |            |            |            |
|      |           |                  |            |            |            |

※「水道原水」とは、浄水処理前の取水地点の水

※検査結果の( )内は、検出下限値

※検出下限値とは、測定において検出できる最小値で、検体の検査時間、機器の性能によって異なり、また、放射能の特性として、同じ機器で測定しても検出下限値は変動します。例えば「不検出(<0.30)」とあるのは、その検体で検出できる最小値 0.30Bq/kg であり、放射性物質濃度は「0.30 Bq/kg 未満であること」を意味します。この際、表記上は「不検出」としています。